

教育民生常任委員会報告（読み原稿）

教育民生常任委員会よりご報告いたします。

教育民生常任委員会は、7人の委員（議員）で構成されています。

所管する部局は、健康福祉部、教育委員会、永康病院、西香川病院、財田診療所・栗島診療所及び志々島診療所となっています。

お手元の、「議会だより」の資料によりまして、所管部局の平成30年度重点施策についてご説明いたします。

5ページをお開きください。

2段目の「健康増進事業」は健康福祉部健康課が担当しています。

この事業は、がん予防や生活習慣病、歯周病予防を目的として、各種がん検診や健康診査をおこない、その予防や早期発見に取り組みます。今年度新規がん予防対策として、中学3年生を対象にピロリ菌の検診を、また成人を対象に胃の内視鏡検査を実施します。

H30年度は、1億1409万円を予算化しています。

次にその右の「子ども医療費助成事業」は健康福祉部健康課が担当しています。

15歳の年度末までの子どもの医療費の一部を助成するものです。子供の病気の早期発見と治療をうながし、保健と福祉の向上をはかるものです。

H30年度は、2億6814万5千円を予算化しています。

続いて、3段目左の「子供の学習支援事業」は健康福祉部福祉課が担当しています。

この事業は昨年度に引き続き、生活困窮世帯の中学3年生のうち、高等学校に進学を希望する生徒を対象に、学習支援教室を開催するものです。将来の社会的自立を促して、貧困の連鎖を防ぐための学習支援です。

H30年度は、268万4千円を予算化しています。

次にその右の「母子保健事業」は、健康福祉部子育て支援課が担当しています。

この事業は、妊産婦健診や乳幼児に対して訪問や健診などを実施し、その健康保持と増進をはかるものです。H30年度より、産後退院直後の母子に対して、心身のケアを行う「産後ケア事業」を実施します。また来年度は産婦健診も開始する予定です。

H30年度は、7,342万9千円を予算化しています。

続きまして、4段目右端の「学校ICT整備事業」は教育委員会教育総務課が担当しています。

新学習指導要領の実施を見据え、5年計画で電子黒板・タブレット等の環境整備を進め、また校務支援システムを導入します。生徒用、教師用タブレット等を購入し、基礎となる知識や技術をしっかりと習得しつつ、それらを活用して、問題解決していく力をつけていくものです。

H30年度は、9,861万6千円を予算化しています。

さて昨年度、議会として初めて、8事業について事務事業評価を行いました。そのうち教育民生常任委員会所管は、「高齢者福祉タクシー事業」と「放課後児童クラブ運営事業」の2事業でした。「高齢者福祉タクシー事業」の評価は「改善」、「放課後児童クラブ運営事業」は「継続」の評価でした。この評価結果が、H30年度予算に反映されるよう、議会として市長に要望書を提出しました。(別紙参照)その結果「高齢者福祉タクシー事業」は、今年度アンケート調査(80歳以上、3,000人対象)を実施し、H31年度に向け、検討・見直しを行うこととしています。

以上簡単ですが、教育民生常任委員会の報告を終わります。